

リアルタイム
無観客配信

最終選考上演会

P 新人賞 PUPPET×PERFORMANCE 2020

2021年2月20日(土) 19:00 / 21日(日) 14:00

ツイキャスプレミア配信(アーカイブ配信 3月6日(土)まで)

料金▶¥1,500(二回公演+最終選考会+アーカイブ視聴有効)

P新人賞受賞団体

副賞賞金 **200,000円**

2021年度ひまわりホールにて新作公演の招待上演を予定

観客賞受賞団体

副賞「どえりゃー名古屋めしセット」

▶P新人賞とは

P新人賞の「P」とは、人形劇(PUPPET)のP、オブジェ+身体によるパフォーマンス(PERFORMANCE)の「P」です。人形劇ジャンルの明日を担う斬新な才能を発掘するために開催され、今年で10回目を迎えます。

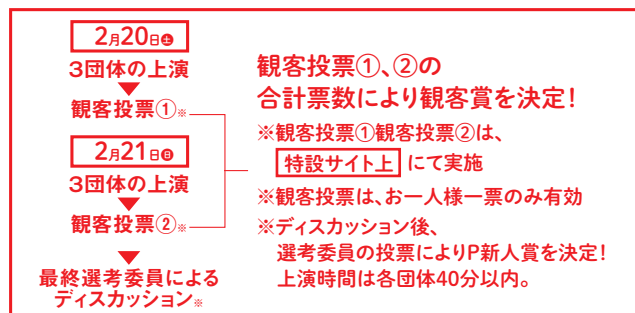
最終選考上演会では、選考委員ディスカッションによりP新人賞1作品を、観客の皆さんによる投票で観客賞1作品を決定!P新人賞受賞団体には副賞賞金20万円、P新人賞観客賞受賞団体には副賞「どえりゃー名古屋めしセット」をそれぞれ贈呈!

▶最終選考会上演作品

吉田薫(所属・公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会)(東京都)
『神様の器』

宮田直人(ジャグリング・ユニット・フラトレス)(大阪府)
『fratres -Solo Act-』

劇団野らぼう(長野県)
『あの日から彼は私のことをしげと呼ぶようになった』



▶ツイキャス配信チケット購入方法

[チケット発売] 12月10日 10:00

【生配信】

キャスマーケットにてチケットを購入
購入したアカウントでツイキャスにログイン
以下のライブページより
ご視聴いただけます

https://twitcasting.tv/c:aichi_puppet/shopcart/33270

【アーカイブ】 3月6日(土)まで配信!

キャスマーケットにてチケット購入
購入したアカウントでツイキャスにログイン
【公式ストア】の【購入履歴】から
公開中の録画の視聴ページを開く

最終選考委員

小島祐未子(編集者・ライター)
玉木暢子(NPO法人国際人形劇連盟日本センター事務局長)
智春(演出家、振付家、肉体劇作家、クラウン)
水谷イヅル(現代美術家)

P新人賞2020実行委員長

木村繁(演出家)

▶お申込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人愛知人形劇センター

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-22-21

損保ジャパン名古屋ビル8F

TEL 052-212-7229(平日10:00~18:00) FAX 052-212-7309

mail@aichi-puppet.net

※お問い合わせは極力メールにてお願いいたします。

文化庁委託事業

「令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

主催 文化庁、特定非営利活動法人愛知人形劇センター

制作 特定非営利活動法人愛知人形劇センター

協賛 損害保険ジャパン株式会社

PUPPET PERFORMANCE 2020 最終選考上演作品のご紹介

リアルタイム
無観客配信

P
新人賞
PUPPET PERFORMANCE 2020

吉田薫 (所属・公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会)

神様の器

東京都

上演時間:約30分



作・演出・美術:吉田薫
出演:吉田薫 霍猛 長谷川唯
美術:霍猛 音響監修:和田光昭
舞台監修:下村明 榎本均

上演作品紹介

たゆたう水の自由を捨てた人魚姫の恋も、身を焦がす想いを火に例えたお七も、満開の桜が目を奪うはなさかじいさんも。私たちが何時もつまんでいる物語は、水があってこそ、火があってこそ、木があってこそ、人があってこそ、生活があってこそ、音楽があってこそ、そして、土があってこそ生まれたのだと思うのです。これは『土』って楽しいと気づいた、私の泥遊びの記録です。

劇団プロフィール

公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 / 1964年、故・小澤明により旗揚げ。「どんな離島山間僻地小規模施設の子ども達にもナマの舞台の感動を届けよう!」という思いのもと、全国の幼稚園・保育園への巡回公演を主とした人形劇団。今年創立56年。

吉田薫 / 秋田県出身。短大の幼児教育学科に通いながら、声優の養成所で芝居について学ぶ。短大卒業と同時に幼稚園教諭2種免許取得。2016年劇団すぎのこ入団。

宮田直人 (ジャグリング・ユニット・フラトレス)

fratres -Solo Act-

大阪府

上演時間:約6分



作・演出・出演:宮田直人

上演作品紹介

ジャグラーを「扱えるものの数と、動かし方が多い人」として捉え、「技術力」を発揮するために最適化された物体(ジャグリング道具)が、その特性を残しつつ流動的にシンプルながら意味を持っていく。技術視点でのオブジェクトシアターの発展を目指した短編作品です。ジャグリングが幅広く舞台で活躍できるきっかけの一つにと。

劇団プロフィール

ジャグラー / 作・演出家として舞台を中心に活動。様々なジャグリングのコンペティションで優勝・準優勝などの成績を収める。自身が出演する傍ら、イベント企画やワークショップ講師、舞台アドバイザー等、幅広く活動し、多方面からジャグリング界を支えている。また、舞台公演団体「ジャグリング・ユニット・フラトレス」の代表・作・演出を務め、ジャグリングを舞台美術として彩る新しい作品作りを行っている。

劇団野らぼう あの日から彼は私のことをしげると呼ぶようになった

長野県

上演時間:約35分



作・演出:前田斜め
出演:前田斜め 水野安実
音響照明:成田明加 白鳥達也

上演作品紹介

2020年5月に公演を予定していた作品です。しかし当然のことのように公演は延期になり、この作品の上演も一時は諦めましたが、刻々と流れる時間の無情さに、できる限りの感染症対策を講じて上演しようと屋外にビニール幕を張り巡らせて公演したのが2020年の6月でした。その時は感染症完全対応版。そして今回はライブ配信観劇版として再び皆さんの前に登場します。前作を観た方も今回初めての方もこの配信を見逃すな!

劇団プロフィール

長野県松本市を拠点とする劇団。(前身:野外人形劇団のらぼう)主に屋外で活動を行い、松本市の公園で春と秋に作品を上演している。また様々な状況に合わせた上演を得意とし、駅前朝芝居や音声はインターネット上で聞く音声同期型サイレント芝居、夜の飲み屋を巡回する流し芝居などを独自に生み出して活動している。3m級の人形を制作した過去作もあり人形を含めた表現の探求を行っており2021年はテント劇場で公演予定。

特定非営利活動法人 愛知人形劇センター

TEL 052-212-7229(平日10:00~18:00)

FAX 052-212-7309 mail@aichi-puppet.net

※お問い合わせは極力メールにてお願いいたします。

P新人賞特設ページ

http://aichi-puppet.net/p_newface/



これまでのP新人賞受賞団体

- P新人賞2011 PuppetTheaterゆめみトランク『やぎのおはなし』(愛知県)
- P新人賞2012 人形劇団ネンネンネムネム『幽霊(ネムリドリ・ゴースト・ストーリー)』(東京都)
- P新人賞2013 banko(バンコ)『さなぎのとき』(神奈川県)
- P新人賞2014 ベビー・ピー『山ぐるみ人形劇 桜の森の満開の下』(京都府)
- P新人賞2015 人形劇団望ノ杜『DEBRIS』(栃木県)
- P新人賞2016 影の色彩ワンププロジェクト『夜叉が池』(愛知県)
- P新人賞2017 劇団オレンヂスタ『MANGAMAN』(愛知県)
- P新人賞2018 人形劇団LimLim『空き地のうち』(愛知県)
- P新人賞2019 横山てんこ(genre:Gray)『待つ』(東京都)